



新多磨地区ラリーにて 2013.10.27

ボーイスカウト 稲城第1団 団通信

2013.12号

お知らせ

はじめまして

ボーイスカウト稲城第1団の保護者の皆様、こんにちは

今回から不定期（当面は6ヶ月に1回）ではありますが、「団通信」を発行いたします。育成会を含めた団全体の活動状況などについてお伝えしていきます。

ボーイスカウトでは、年代の違う子供たちや指導者、地域の大人たちと一緒にしながら活動しています。これらは、勉学を中心とした学校教育や、家族や友人たちとのアウトドアライフとは、別の考えに基づいています。ボーイスカウト活動は、より良い社会人として生きていく為の知識・技能・社会性を養うことを目標にしています。

昨今はコミュニケーション不足の時代と言われるます。活動内容を親子で話し合うことは、コミュニケーションの良い機会だと考えています。ぜひ、「楽しかった?」「どんなことあった?」と、聞いていただければと思います。団としても各隊の支援を行うとともに、保護者の皆様とのコミュニケーションを図り、育成会を充実させようと考えております。保護者の皆様におかれましては、スカウト活動へのご理解、ご協力を頂きたい、よろしく申し上げます。

お手伝いのお願い

来年1月12日にお餅つきをします！
つきたてのお餅を小分けするお手伝いをお願いします！詳細は、各隊の指導者からご連絡します。

場所は、宮田育成会長のご自宅の庭をお借りして行います。

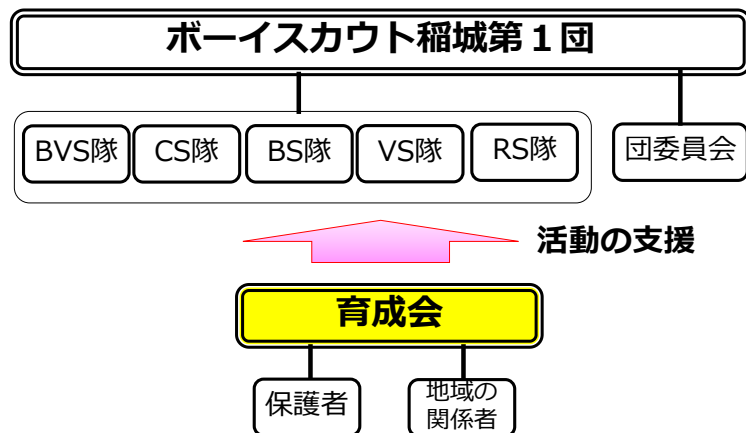


ありがとうございました

12/2(月)に、近隣のカブスカウトの保護者の方に、城山文化センターの年末大掃除へご参加いただきました。



今回の話題 ～育成会～



育成会は、日本連盟規定集には
 “スカウト教育に当たり、保護者をはじめ、教育、宗教、社会奉仕、体育、商工関係その他地域の関係者が育成団体となり、奉仕の精神をもって、スカウト教育活動を維持し発展させるための組織”
 と記載されています。



育成会についてお話しいたします。

お子様が稲城第1団にスカウトとして入団されると、保護者の皆様は自動的に育成会に入会します。稲城第1団では、主に保護者と地域の関係者で構成されています。

育成会は、施設や資金面でスカウト活動の支援を行い、また団の経費面の責任も負っています。スカウト活動を支えるお金、活動費は、定常徴収である育成会費、隊費、また臨時徴収の各キャンプ費用のほかに、春秋の市民祭りに実施している焼き鳥の販売から得ています。施設においては、宮田育成会長のご厚意により、（税金等の）実費のみで土地を借用しスカウトハウスを維持しています。

さて、資金面に着目しますと、団の大きなイベントでは個人の負担軽減のために、一部費用の補助を行っています。平成24年度の使用実績は、

- ・ スキー訓練：10万円
- ・ 夏季団キャンポリー：20万円
- ・ 第16回日本ジャンボリー：30万円

です。2015年度は、世界ジャンボリーが日本で開催されます。稲城第1団からも選抜スカウトの参加、指導者の派遣が予定されていて、多くの資金を必要としています。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、春秋の焼き鳥販売では、年間で約30万の収益を上げています。本年度も同額を予算として計上しています。1回の販売につき四千本近くの焼き鳥をさばくため、多くの人手を必要としています。育成会会員である保護者の皆様には、焼き鳥販売のご奉仕に積極的に参加頂きたいと思っております。

編集後記

団通信は、いかがでしたでしょうか？
 今後も分かりやすく活動内容をお伝えしていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。

12/28(土)に、団の忘年会を予定しています。ぜひご出席いただければと思います。詳細等については、担当の隊指導者から追ってご連絡いたします。

団または隊へのご要望がございましたら、以下の連絡先までご連絡をお願いいたします。

- 団：舟川副団委員長
- 隊：各隊隊長